規則性と 式

中1／解き方プリント 項目8／目標 15分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

きまり① 本数は「1個目の 本数」と「1個 ふえる ごとの 本数」に 分けて 式に する
きまり② となり合う 辺を 共有 する ときは、ふえる 本数は 1個分の 辺の 数より 1 少ない
きまり③ まわりに ならべる ときは、かどの 碁石を 2回 数えない（かどの 数を ひく）
れい 正六角形を つなぐと、1個目 6本・ふえる 5本 だから 6＋5(x−1) ＝ 5x＋1

◯ 3個で 6＋5＋5 ＝ 16本　　× 3個で 6 × 3 ＝ 18本

・「規則性と式」の 問題。答えを 四角に 書く。式は 文字式の きまりで 書く。○で かこむ 問題は 1つ だけ かこむ。
・大問4は、「正しい」「まちがい」の どちらかを ○で かこみ、まちがいなら 正しい 答えを、正しい 答案なら「同じ」と 四角に 書く。

大問1 マッチ棒の 本数を x の 式で 書く

(1) マッチ棒で 正五角形を、となり合う 1辺を 共有して 横一列に x個 つくる

(2) マッチ棒で 正八角形を、となり合う 1辺を 共有して 横一列に x個 つくる

大問2 正五角形を 横一列に x個 つなぐ 本数は 5＋4(x−1)。下の 数は 何を 表すか

(1) 「4」は

1個目を つくる のに 使う 本数　／　1個 つなぐ ごとに ふえる 本数　／　つなぐ 個数の ぜんぶ

(2) 「5」は

1個 つなぐ ごとに ふえる 本数　／　となり合って 共有 している 辺の 本数　／　1個目を つくる のに 使う 本数

大問3 まわりの 碁石の 数を n の 式で 書く

(1) 碁石を 正三角形の まわりに、1辺に n個 ずつ ならべる（nは2以上）

(2) 碁石を 正五角形の まわりに、1辺に n個 ずつ ならべる（nは2以上）

大問4 答案を 調べて 直す

(1) マッチ棒で 正七角形を、となり合う 1辺を 共有して 横一列に x個 つくる
「本数 ＝ 7x」

正しい　／　まちがい　　答え

(2) 碁石を 正七角形の まわりに、1辺に n個 ずつ ならべる（nは2以上）
「碁石の 数 ＝ 7n−7」

正しい　／　まちがい　　答え

見直し □ 1個目と ふえる分に 分けた □ 共有・かどを 2回 数えて いない まちがい（　）問

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「文字と式」のプリント一覧がひらきます